資料1-1

保険者機能強化アクションプラン（第４期）の概要について

保険者機能強化アクションプラン（第４期）のコンセプト

協会の基本理念

保険者機能強化アクションプラン（第４期）においても、協会けんぽの基本理念をこれまで以上に追及していく。

【基本使命】

保険者として、健康保険及び船員保険事業を行い、加入者の皆様の健康増進を図るとともに、良質かつ効率的な医療が享受できるようにし、もって加入者及び事業主の皆様の利益の実現を図る。

【基本コンセプト】

- ■ 加入者及び事業主の皆様の意見に基づく自主自律の運営
- ■ 加入者及び事業主の皆様の信頼が得られる公正で効率的な運営
- ■ 加入者及び事業主の皆様への質の高いサービスの提供
- ■ 被用者保険のセーフティネットとしての健全な財政運営

第３期の検証を踏まえた見直し

基本方針の整理

第３期では、アクションプランを通じて実現すべき３つの目標を設定したが、取組相互の関連性が高く、重複する取組が多かった

第４期では、**保険者機能を二つに分類**、それに協会けんぽの基盤整備たる**組織体制の強化を加えて基本方針**とし、**取組の重複を整理**

PDCAサイクルの明確化

これまで、アクションプラン→事業計画→事業報告→業績評価というPDCAサイクルの流れが必ずしも明確でなかった

第４期では、**アクションプランと毎年の事業計画のKPI（※）を連動**させ、それを毎年評価し改善していくことにより、**PDCAサイクルを明確化**

シンプルなKPIの設定

第３期の検証指標は、取組を体系化したロジックツリーを用いたが、指標の複雑さや因果関係の分析が困難な事項が存在

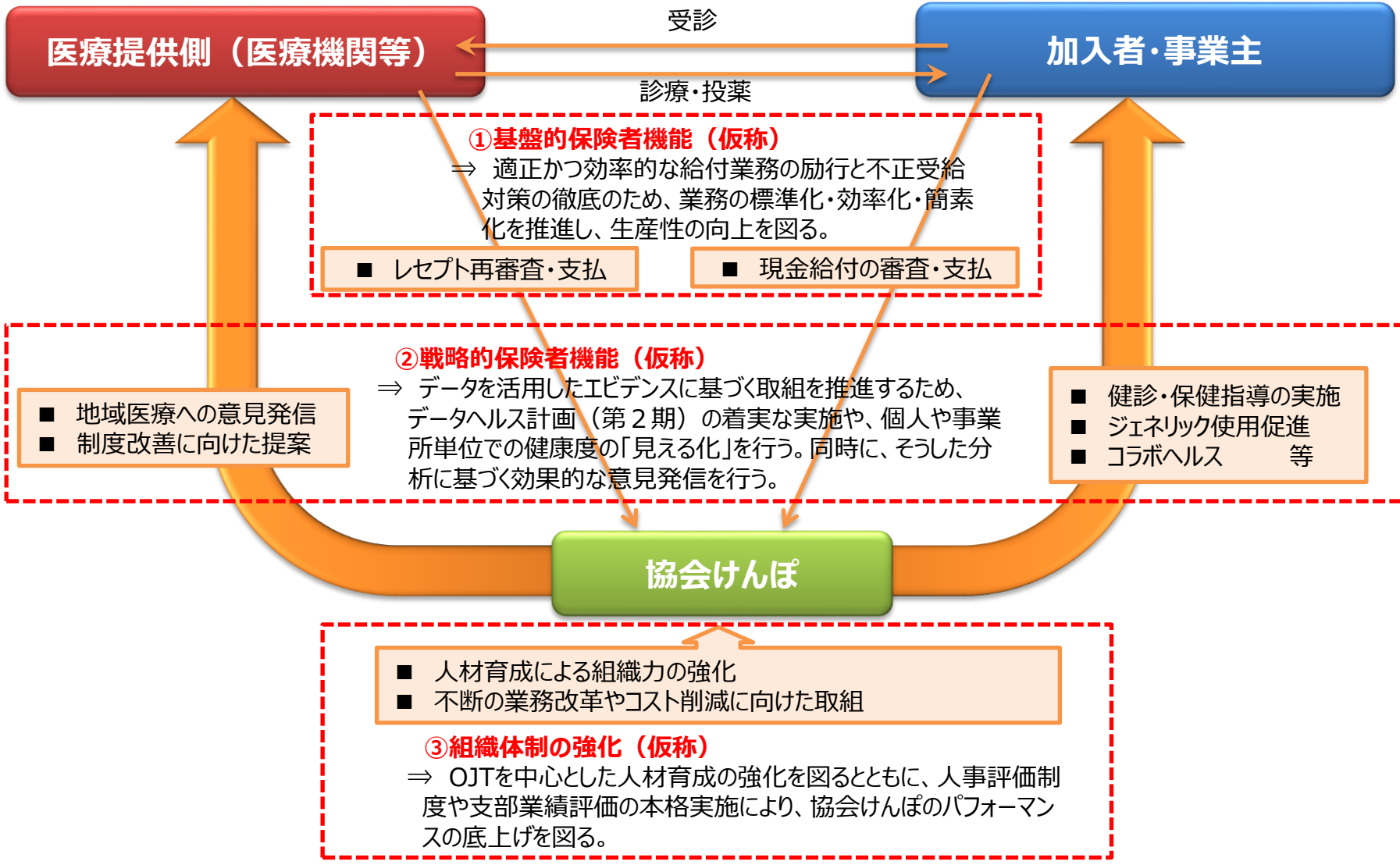
第４期では、**一項目に一つのKPIを設定**し、かつ定量的な目標とすることにより、**取組の達成状況を見える化**

※KPI（Key Performance Indicator：重要業績評価指標）

保険者機能強化アクションプラン（第４期）における協会けんぽ運営の基本方針

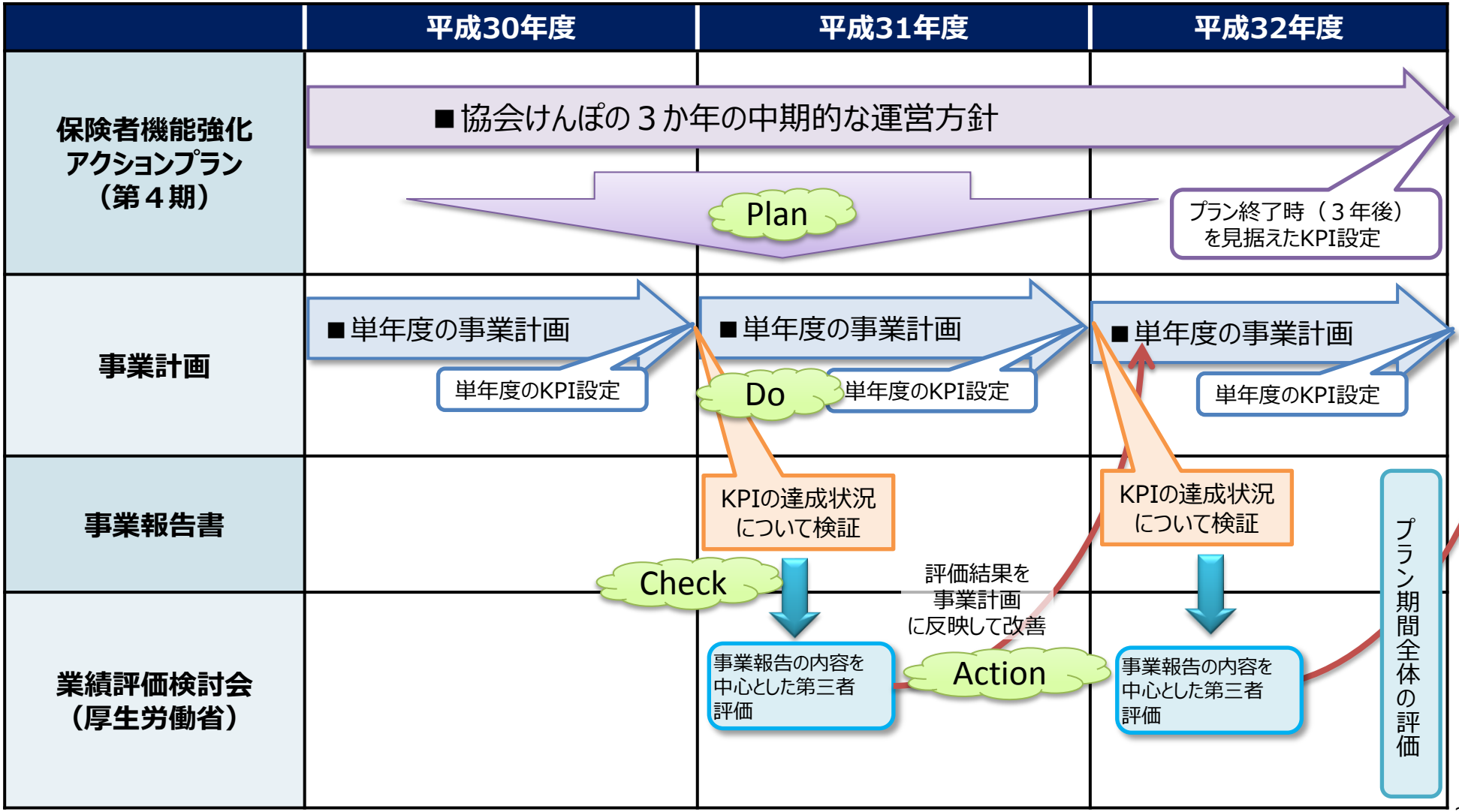
基本的考え方

- 協会けんぽの役割等について、①基盤的保険者機能（仮称）、②戦略的保険者機能（仮称）、③組織体制の強化（仮称）の３つに分類した上で、それぞれ目指すべき方向を定める。
- その上で、分野ごとに具体的取組を定めるとともに、定量的KPIを設定して進捗状況を評価する。



保険者機能強化アクションプランに係るPDCAサイクルの強化について

- 協会けんぽでは、これまでも保険者機能強化アクションプランや事業計画に基づく事業運営を行い、その評価を次のアクションプランや事業計画に反映させてきたが、必ずしもそうした関係性が明らかになっていなかった。
- このため、平成30年度以降は以下のとおり、保険者機能強化アクションプランを中期計画と明確に位置付けてKPIを設定するとともに、それを踏まえた事業計画の策定や評価を通じた改善を行うことにより、PDCAサイクルを強化する。



保険者機能強化アクションプラン（第４期）における主な取組

（１）基盤的保険者機能関係

- 現金給付の適正化の推進、効果的なレセプト点検の推進
- 返納金債権発生防止のための保険証回収強化、債権回収業務の推進
- オンライン資格確認の導入に向けた対応【新】

（２）戦略的保険者機能関係

- ビッグデータを活用した個人・事業所単位での健康・医療データの活用【新】
- データ分析に基づいた第２期データヘルス計画の着実な実施【新】
- 特定健診受診率、事業者健診データ取得率、特定保健指導実施率の向上
- 重症化予防対策の推進
- 健康経営（コラボヘルス）の推進
- ジェネリック医薬品の使用促進
- インセンティブ制度の本格導入【新】
- 地域の医療提供体制への働きかけ

（３）組織体制の強化関係

- 人事制度の適切な運用と標準人員に基づく人員配置【一部新】
- 支部業績評価を通じた支部の取組の底上げ【新】
- 不断の業務改革